報道資料

子育てしやすさ日本一宣言
箕面市

令和３年度
施政及び予算（案）の概要

１．予算概要 …… １

２．主要施策の概要 …… ２

３．主要施策 …… ３～１４

（１）身を切る改革の実行 …… ３～４

（２）住民目線に寄り添って直ぐ動き、
日本一親切な市役所 …… ５～８

（３）みどり豊かで住み続けたい、
子育て・教育日本一のまちづくり …… ９～１４

【別添資料】令和３年第１回箕面市議会定例会 提出事件の概要

令和３年（2021年）２月
箕　面　市

令和３年度（2021年度）予算概要

単位：千円、%

会　　計		令和３年度（2021年度）A	令和２年度（2020年度）B	増　減 増減額 C（A－B）	増減率 C／B
一般会計		59,600,000	63,970,000	▲ 4,370,000	▲ 6.8
特別会計	財産区事業費	1,851,645	2,071,454	▲ 219,809	▲ 10.6
	国民健康保険事業費	13,666,774	13,660,849	5,925	0.0
	介護保険事業費	10,487,221	11,312,858	▲ 825,637	▲ 7.3
	後期高齢者医療事業費	2,500,333	2,444,871	55,462	2.3
	公共用地先行取得事業費	1,073,106	795,198	277,908	34.9
	介護サービス事業費	12,267	6,212	6,055	97.5
	特別会計の計	29,591,346	30,291,442	▲ 700,096	▲ 2.3
企業会計	病院事業会計	10,551,874	10,400,557	151,317	1.5
	水道事業会計	3,961,281	4,479,631	▲ 518,350	▲ 11.6
	公共下水道事業会計	3,189,520	3,145,598	43,922	1.4
	競艇事業会計	71,110,019	47,209,048	23,900,971	50.6
	企業会計の計	88,812,694	65,234,834	23,577,860	36.1
合　　計		178,004,040	159,496,276	18,507,764	11.6

****　当初予算の全体像　****

《一般会計の予算額》　596億円　＜▲　43億70百万円、▲　6.8%＞

・ 箕面市立文化芸能劇場や市立船場図書館がオープンを迎え、箕面船場阪大前駅の周辺整備による事業費のピークが過ぎたことなどから、予算額が約44億円減少しました。

《全会計の予算額》　1,780億04百万円　＜＋ 185億08百万円、＋ 11.6%＞

・ 競艇事業会計において、ＳＧ競走（グランプリ）の開催年にあたるため、予算規模が拡大したことにより、全会計の予算総額が約185億円増加しました。

◆　一般会計の主な歳入の状況

・市税　228億59百万円　＜▲　8億42百万円、▲　3.6%＞

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約8億円減少しました。

・市債　34億98百万円　＜▲ 74億38百万円、▲ 68.0%＞

新駅への交通アクセスを確保するための都市計画道路の整備や箕面船場阪大前駅の周辺整備などの財源として市債を発行しました。

・競艇事業会計繰入金　15億円　＜＋　5億円、＋ 50.0%＞

好調な業績を背景に、前年度から5億円増加した15億円の繰入金を見込んでいます。
今後の市債の償還などに活用するため、約14億円を「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立てました。

◆　一般会計の主な歳出の状況

・扶助費　151億40百万円　＜＋　1億04百万円、＋　0.7%＞

待機児童対策として保育所整備を進めてきたことによる保育給付費の増加やその他扶助費の増加などにより、約1億円増加しました。

・普通建設事業費（施設整備など）　126億53百万円　＜▲ 69億57百万円、▲ 35.5%＞

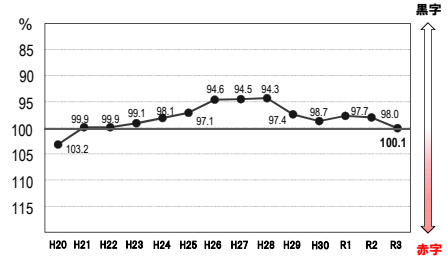
都市計画道路の整備や箕面船場阪大前駅前の周辺整備、唐池公園のリニューアル工事、彩都の丘学園増築校舎の取得などを実施します。

・人件費　104億88百万円　＜▲　1億29百万円、▲　1.2%＞

退職手当の減少や令和２年度人事院勧告による職員給与費の減少などにより、約1億円減少しました。

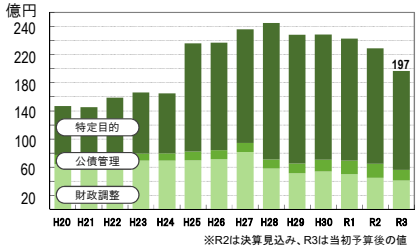
****　収支バランスの状況　****

◆　経常収支比率（当初予算ベース）　100.1%　＜＋　2.1ポイント＞



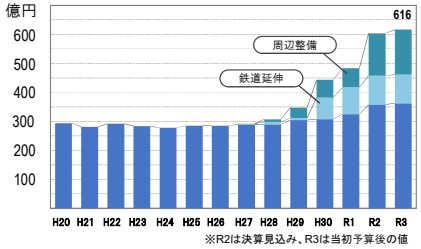
新型コロナウイルス感染拡大の影響による市税収入の大幅な減収や社会保障関係費の増加などにより、昨年度比から2.1ポイント増加しました。
感染拡大の収束時期が依然見えない中で、本市財政は、当面極めて厳しい行財政運営を強いられる見通しです。

◆　基金残高（普通会計ベース）　196億73百万円　＜▲　32億35百万円、▲　14.1%＞



今後の市債の償還などに活用するため、「北大阪急行南北線延伸整備基金」への積み立てなどを行った一方、予定していた大阪大学現キャンパスの建物購入などに基金を活用した結果、基金残高は約32億円減少しました。
また、市税収入の減収などへの補填のため、財政調整基金を１２年ぶりに3億7千万円取り崩しています。

◆　市債残高（普通会計ベース）　616億18百万円　＜＋　12億40百万円、＋　2.1%＞



令和５年度の鉄道開業に向け、新駅への交通アクセスを確保するための都市計画道路の整備や箕面船場阪大前駅の周辺整備などにかかる市債を発行した結果、残高は約12億円増加しました。
今後の償還額の増加は、財政運営に大きな影響を及ぼすものであることから、新年度は、基金を活用し、約7億円の市債の発行抑制に努めました。

愛すべきまち「箕面」の次世代への継承、および持続可能な魅力あるまち「箕面」の実現に向け、今後、策定した「箕面市新改革プラン」に基づき、限られた財源で住民サービスを向上させるとともに、約5億円の経常経費の削減と、経常収支比率の改善をめざします。

令和３年度（2021年度）主要施策の概要

新年度は、新改革プランのもと、大胆かつ着実に改革を進め、健全な財政を取り戻すべく、効率的な行財政運営を行ってまいります。

１．新アウトソーシング計画の策定

「民間でできることは民間で担う」発想のもと、「箕面市新アウトソーシング計画」を策定します。

２．施設の再配置構想

再編や再配置を含めた公共施設のありかたを検討します。

３．市有財産の有効活用　【 予算額（歳入）　130,000千円 】

有効活用できるものは貸付などを積極的に行い、活用を見込めない財産は、計画的に売却を進めます。

４．全事業の点検

全事業について、社会経済情勢や市民ニーズの変化などを踏まえながら、公益性、必要性、公平性など幅広い観点で検証し見直しを行います。

５．各種団体の見直し

各種団体が安定的に持続可能な事業展開を行えるよう、組織のスリム化や効率化に向けた支援を行います。

６．箕面新稲の森の整備・野外活動センター事業者募集　【 予算額　30千円 】

箕面新稲の森の整備について、青少年教学の森野外活動センターの活用と併せ、民間事業者の力を最大限活かした方策について検討を進めます。

７．唐池公園リニューアル　【 予算額　48,000千円 】

公園の魅力アップを進めるため、公園のリニューアルに着手し、新年度は唐池公園を３世代が楽しめる公園にリニューアルします。

８．医師が常駐する病児保育室の整備　【 予算額　33,660千円 】

令和４年４月の開設をめざし国費などを活用して整備費を民間事業者へ支援します。

９．少人数学級を小学３年生まで拡大　【 予算額　18,837千円 】

新年度より国の動きに先駆けて、小学３年生を３５人学級とし、きめ細かな指導体制、環境を整備します。

１０．オンライン学習の推進・支援　【 予算額　176,819千円 】

デジタルドリルを活用した個別学習や持ち帰り学習の実施に向けた検討を進めます。また、全ての児童生徒が自宅でオンライン授業を受けることができるよう支援します。

１１．大阪大学箕面キャンパスの跡地活用　【 予算額　7,858千円 】

大阪大学箕面キャンパス跡地の活用について、優先交渉事業者と協議のうえ、契約の締結を行います。

１２．北大阪急行線の延伸と新駅周辺のまちづくり　【 予算額　5,267,473千円 】

令和５年度の鉄道開業に向けて、トンネル本体の工事や軌道の敷設などを行っていきます。また、新駅周辺のまちづくりでは、エントランス、駅前広場、箕面船場第二駐輪場の整備を進めます。

１３．新病院運営手法の検討　【 予算額　6,050千円 】

新病院が担うべき役割や機能をより効果的、効率的に実現できる運営主体や運営手法について検討を進めます。

１４．箕面船場地区ヘルスケア拠点施設の創出　【 予算額（債務負担限度額）　257,275千円 】

箕面船場地区に整備が予定されている「関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター（仮称）」について、国の交付金を活用し、整備費を支援します。また、センターを活用したスポーツと健康のまちづくりに資する各種施策の検討を進めます。

※各項目の予算額は、ここに挙げていない事業分を含んでいる場合があります。詳細は「主要施策」をごらんください。

令和３年度（2021 年度）主要施策

「身を切る改革の実行」「住民目線に寄り添って直ぐ動き、日本一親切な市役所」「みどり豊かで住み続けたい、子育て・教育日本一のまちづくり」の3つの基本姿勢に基づく令和3年度（2021 年度）の主要施策の概要は次のとおりです。

なお、◆印は施政方針に記載している重点施策であることを示しています。また、金額は当該重点施策を含む全体事業費で示しているため、重点施策にかかる費用を上回る場合があります。

１．身を切る改革の実行

◆ 新アウトソーシング計画の策定

より質の高いサービスを市民の皆さまに提供できるよう、事業の見直しを図るため、「民間でできることは民間で担う」発想のもと、職員の定員管理などを含めた「箕面市新アウトソーシング計画」を策定します。

◆ 施設の再配置構想

業務の効率化を始め、サービスレベルや利便性の向上を図るため、再編や再配置を含めた公共施設のありかたを検討します。

◆ 市有財産の有効活用

市有財産について、有効活用できるものは貸付などを積極的に行い、地域の活性化や賑わいの創出を図ります。また、活用を見込めない財産については、計画的に売却を進めます。

◆ 全事業の見直し

全事業について、社会経済情勢や市民ニーズの変化などを踏まえながら、

公益性、必要性、費用対効果などの幅広い観点で検証し見直しを行います。

◆ 各種団体の見直し

各種団体が安定的に持続可能な事業展開を行えるよう、より健全な経営基盤を構築するため、市が組織のスリム化や効率化に向けた支援を行います。

事業内容	種別	予算額（千円）	所管部局
・新アウトソーシング計画	新規	－	総務部
・施設の再配置構想	新規	－	総務部
・市有財産の有効活用 （市有地売払収入）	新規	130,000	総務部
・全事業の点検	新規	－	総務部
・各種団体の見直し	新規	－	総務部

２．住民目線に寄り添って直ぐ動き、日本一親切な市役所

◆ 新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種

16歳以上の市民を対象に新型コロナウイルス感染症にかかるワクチンの予防接種を実施します。

◇ 新型コロナウイルス感染症対策

赤ちゃん訪問や市立小中学校などで使用する手指消毒用アルコールなどの消耗品を購入します。

◇ 外国人による防災コミュニティの形成支援

外国人防災アドバイザーを養成するとともに、外国人防災アドバイザーによる外国人市民の目線に立ったセミナーや体験会の開催、多言語防災ガイドブックの作成を行います。

◇ 市税と国民健康保険料のキャッシュレス決済の拡充

市税と国民健康保険料の納税（納付）は、現在も金融機関の窓口払いや口座振替、コンビニの窓口払い、クレジットカードによるオンライン決済がご利用いただけます。新年度は、コロナ禍における感染対策として、自宅からでも納付できるスマートフォンによるバーコード決済を導入します。

◇ 戸籍証明のコンビニ交付開始

住民票の写し、印鑑登録証明書、市・府民税課税証明書の3種類のコンビニ交付サービスに加え、戸籍証明のコンビニ交付も開始し、箕面市に本籍のあるかたは、全国どこのコンビニからでも戸籍証明を取得できるようにします。

◆ 地域包括支援センターの体制強化

市内5か所にある地域包括支援センターに配置する専門職を3名から4名に増員し、高齢者世帯をはじめとする市民の皆さまのより身近な相談窓口となるよう体制を強化します。

◆ ささえあいステーション相談体制の強化

現在6小学校区で実施しているモデル事業を8小学校区に拡大するとともに、利用者の利便性などの効果を検証し、相談体制の強化を図ります。

◇ 訪問入浴サービス報酬単価の引き上げ

障害者地域生活支援事業における訪問入浴サービス報酬の単価を介護保険サービスの「訪問入浴介護」なみに引き上げ、引き続き、障害者地域生活支援事業における訪問入浴サービス制度を堅持します。

◆ 箕面新稲の森の整備

◇ 野外活動センター次期事業者募集

箕面新稲の森の整備について、貴重な山林を保全しつつ、市民ニーズにあった魅力的な施設にするため、青少年教学の森野外活動センターの活用と併せ、民間事業者の力を最大限活かした方策について検討を進めます。

◆ 公園のリニューアル

公園の魅力アップを進めるため、令和3年度から公園のリニューアルに着手します。国費を活用し優先順位の高い公園に集中投資することとし、新年度は唐池公園を3世代が楽しめる公園にリニューアルします。

◆ 府域水道の一元化

効率的な水道事業の運営による市民サービスの向上をめざし、水道事業

の府域一元化に向け、大阪広域水道企業団との統合について、協議、検討を進めます。

◆ ５市２町消防通信指令の共同運用

豊中市（能勢町受託）、吹田市、池田市、摂津市と箕面市（豊能町受託）の5市2町で、令和6年4月から消防通信指令事務を共同運用するため、通信指令システムの構築など準備を進めます。

◇ 常備・非常備消防車両の計画的更新

車両の更新を計画的に進めており、新年度は、常備消防において、車両を2台（消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車（緊急消防援助隊登録車両））、非常備消防において、普通免許で運転できる消防ポンプ自動車1台（3．5トン級車両）を更新します。

事業内容	種別	予算額（千円）	所管部局
・新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種	新規	654,251	健康福祉部
・新型コロナウイルス感染症対策	継続	9,802	子ども未来創造局
・外国人による防災コミュニティの形成支援	継続	1,749	人権文化部
・市税・国民健康保険料のキャッシュレス決済の拡充	新規	－	総務部
・戸籍証明のコンビニ交付開始	新規	3,792	市民部
・地域包括支援センターの体制強化	強化	122,840	健康福祉部
・ささえあいステーション相談体制の強化	強化	24,000	健康福祉部
・訪問入浴サービス報酬単価の引き上げ	新規	21,704	健康福祉部

・箕面新稲の森の整備	新規	―	地域創造部 子ども未来創造局
・野外活動センター次期事業者募集	新規	30	子ども未来創造局
・公園のリニューアル	新規	48,000	みどりまちづくり部
・府域水道の一元化	新規	―	上下水道局
・5市2町消防通信指令の共同運用	新規	―	消防本部
・常備・非常備消防車両の計画的更新	継続	99,997	消防本部

３．みどり豊かで住み続けたい、子育て・教育日本一のまちづくり

◆ 保育士確保策における家賃支援補助

国の制度を活用し、民間保育園が新規採用から9年目までの保育士のために箕面市内に住居を借り上げた場合、保育士1人あたり月額7万円を上限として民間保育園に賃貸費用を補助します。

◆ 医師が常駐する病児保育室の整備

医師が常駐する医療機関併設型病児保育室について、令和4年4月の開設をめざし国費などを活用して整備費を民間事業者へ支援します。

◇ 産後ケア事業対象者の拡大

出産後4か月までの母子を対象に、心身のリフレッシュや、育児アドバイスなどを受けられる産後ケア事業を実施 しています。

新年度は、母子保健法の改正に伴い、入院が長期化する低出生体重児などの母子について、産後4か月を超えても、新たに対象となります。

◆ 少人数学級を小学校３年生まで拡大

小学校の「少人数学級」が段階的に拡充される国の方針を受け、本市では、新年度より国の動きに先駆けて、小学校3年生を35人学級とし、きめ細かな指導体制、環境を整備します。

◆ オンライン学習の推進

全児童生徒1人1台のタブレット端末の配置が完了することに伴い、デジタルドリルを活用した個別学習や持ち帰り学習の実施に向けた検討を進め、今後のICT教育のさらなる推進を図ります。

◇ オンライン学習の支援

児童生徒の自宅にオンライン授業環境を整備するための支援として、就学援助費及び支援教育就学奨励費の給付費目に、「オンライン学習通信費」を追加します。

◇ 放課後スタディルームの拡大・強化

自学自習の場として小学校8校で実施している放課後スタディルームを、放課後学習室「すたさぽ」として、全14校に拡大するとともに、各校に専任の放課後学習支援員を配置し、来室児童への学習支援を強化します。

◇ 子どもの生活・学習支援

生活困窮世帯のうち養育支援を必要とする小学生を対象に、子どもの居場所事業を実施し、子どもが自立する力を伸ばすことのできる機会と環境を提供します。

◆ 熱中症予防策の強化

熱中症予防対策マニュアルを作成するとともに、熱中症に関する知識を正しく習得できるよう、教職員向けの研修を実施します。

中学校には、グラウンドにミストシャワー、プールに遮光シートを設置し、部活動中の熱中症対策を強化します。

◇ 教育委員会事務局の業務改善・機能強化

令和3年10月から、就学関連事務や学童保育関連事務の定型的業務の委託化を段階的に実施します。業務委託により、事務局業務の改善を図り、市職員が政策課題や専門的な相談業務などのコア業務により注力できる体制を構築します。

◇ ホストタウン事業の実施

ニュージーランド柔道チームのホストタウンとして、国際交流や国際理解の促進、多文化共生社会の実現をめざすとともに、オリンピックの機運醸成を図るためのスポーツイベントを実施します。

◆ 市街化調整区域における開発許可等の事務移譲

令和3年4月１日に大阪府から市街化調整区域における開発許可などの事務移譲を受け、市街化調整区域の良好な環境を保つとともに、違反物件の是正を行います。

◆ 大阪大学箕面キャンパスの跡地活用

本市の市街地に残された最後の貴重な広大空間である大阪大学箕面キャンパス跡地の活用について、令和2年度には公募を開始し、今後選定した優先交渉事業者と協議のうえ、契約の締結を行います。

◆ 川合・山之口地区のまちづくり

土地区画整理準備組合の設立が予定されており、新年度は、土地区画整理事業の事業化に向け、支援を行っていきます。

◆ 北大阪急行線の延伸整備

令和5年度の鉄道開業に向けて、トンネル本体の工事や軌道の敷設などを行っていきます。

◆ 新駅周辺のまちづくり

箕面船場阪大前駅前の周辺整備事業において、市立船場図書館、市立船場生涯学習センター、メインデッキ、市立箕面船場第一駐輪場が5月に、市立文化芸能劇場が8月にオープンします。新年度は、エントランス、駅前

広場、市立箕面船場第二駐輪場の整備を進め、令和5年度の新駅開業時のオープンをめざします。

◇ オレンジゆずるバスの更新

新型コロナウイルス感染症などへの対策として、オレンジゆずるバスをより安心してご利用いただける新車両に更新します。また、更新の際には、市民の皆さまにより親しみやすい車両となるようデザインの公募も行います。

◆ 新病院運営手法の検討

全国の先進的な取り組みや新市立病院整備審議会での検討内容などを踏まえながら、新病院が担うべき役割や機能をより効果的、効率的に実現できる運営主体や運営手法について、あらゆる可能性を視野に入れながら検討を進めます。

◆ 箕面船場地区ヘルスケア拠点施設の創出

箕面船場地区に整備が予定されている「関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター（仮称）」について、国の交付金を活用し、整備費を支援します。また、令和6年度のオープンをめざし関係団体などと連携し、センターを活用したスポーツと健康のまちづくりに資する各種施策の検討を進めます。

◇ 大日橋園地駐車場の整備

滝道観光の活性化のため、観光バスが大日橋園地で観光客を降ろし、箕面駅前ロータリーでピックアップすることができるよう、大日橋園地駐車場に観光バスの駐車スペースを整備します。

◇ 足湯跡地の活用

令和2年度をもって阪急箕面駅の足湯を閉鎖されることから、当該跡地を

さらなる観光振興の拠点とするべく、既設の観光案内所に加え、新たに観光協会と協業予定である箕面FMまちそだて(株)の事務所として活用します。

事業内容	種別	予算額(千円)	所管部局
・保育士確保策における家賃支援補助	新規	27,523	子ども未来創造局
・医師が常駐する病児保育室の整備	新規	33,660	子ども未来創造局
・産後ケア事業対象者の拡大	強化	3,325	子ども未来創造局
・少人数学級を小学校3年生まで拡大	新規	18,837	子ども未来創造局
・オンライン学習の推進	新規	163,703	子ども未来創造局
・オンライン学習の支援	新規	13,116	子ども未来創造局
・放課後スタディルームの拡大・強化	新規	11,090	子ども未来創造局
・子どもの生活・学習支援	新規	17,914	子ども未来創造局
・熱中症予防策の強化	強化	5,035	子ども未来創造局
・教育委員会事務局の業務改善・機能強化	新規	7,920	子ども未来創造局
・ホストタウン事業の実施	継続	8,295	人権文化部
・市街化調整区域における開発許可等の事務移譲	新規	188	みどりまちづくり部
・大阪大学箕面キャンパスの跡地活用	新規	7,858	地域創造部
・川合・山之口地区のまちづくり	継続	4,832	地域創造部

・北大阪急行線の延伸整備	継続	4,189,720	地域創造部
・新駅周辺のまちづくり	継続	1,077,753	地域創造部
・オレンジゆずるバスの更新 （ R2予算 ）	新規	161,899	地域創造部
・新病院運営手法の検討	新規	6,050	市立病院
・箕面船場地区ヘルスケア拠点施設の創出（債務負担限度額）	新規	257,275	地域創造部
・大日橋園地駐車場の整備	新規	－	地域創造部
・足湯跡地の活用	新規	4,007	地域創造部